

## 原料費調整制度に基づく2024年11月検針分のガス料金について (東京地区等)

東京ガス株式会社

東京ガス株式会社(社長：笹山 晋一、以下「東京ガス」)は、「原料費調整制度」に基づき、2024年11月検針分の単位料金を調整した結果、2024年10月検針分と比べ、1 $\text{m}^3$  (45MJ)につき8.04円(消費税込)上方に調整いたします。

これにより、1カ月に30 $\text{m}^3$ のガスをお使いになる標準家庭で2024年10月検針分と比較して、241円(消費税込)ガス料金が上がります。

なお、2024年11月検針分は、経済産業省の「酷暑乗り切り緊急支援」<sup>\*1</sup>実施に伴い、10円/ $\text{m}^3$ の値引きを行っております。

補助金適用前との比較では、標準家庭で300円(消費税込)の引き下げとなります。

2024年11月検針分に適用するガス料金については、東京ガスのホームページ等であらかじめお知らせいたします。

\*1 2024年9月～10月検針分は17.5円/ $\text{m}^3$ の値引き単価、2024年11月検針分は10円/ $\text{m}^3$ の値引き単価となります。詳細は経済産業省の電気・ガス料金支援サイト (<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/>) をご覧ください。

### 1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Fの各料金が適用されます。

(消費税込)						
1カ月の ご使用量	料金表A 0～20 $\text{m}^3$	料金表B 21～80 $\text{m}^3$	料金表C 81～200 $\text{m}^3$	料金表D 201～500 $\text{m}^3$	料金表E 501～800 $\text{m}^3$	料金表F 801 $\text{m}^3$ ～
基本料金 (円/月)	759.00	1,056.00	1,232.00	1,892.00	6,292.00	12,452.00
調整単位料金 (円/ $\text{m}^3$ ) (参考)	168.81	153.96	151.76	148.46	139.66	131.96
補助金適用前 調整単位料金 (円/ $\text{m}^3$ ) (参考)	178.81	163.96	161.76	158.46	149.66	141.96
10月 調整単位料金	160.77	145.92	143.72	140.42	131.62	123.92

### 2. 標準家庭における影響

(消費税込)			
1カ月のご使用量 30 $\text{m}^3$ (45MJ/ $\text{m}^3$ )	2024年10月 <sup>*2</sup>	2024年11月 <sup>*3</sup>	増減
適用料金(円/月)	5,433	5,674	241

#### 【参考】補助金適用前

2024年11月 適用料金	補助金適用 前後の差
5,974	300

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1カ月あたりの平均使用量(2018年度～2022年度の5カ年平均)に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から55円(消費税込)を差し引いた金額となります。

\*2 経済産業省の「酷暑乗り切り緊急支援」実施に伴い、17.5円/ $\text{m}^3$ 値引きされています。

\*3 経済産業省の「酷暑乗り切り緊急支援」実施に伴い、10円/ $\text{m}^3$ 値引きされています。

### 3. 原料価格の変動

(円/t)

	2024年5月～2024年7月 の平均 (10月検針分)	2024年6月～2024年8月 の平均 (11月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	94,260	94,910	650
LNG	93,830	94,610	780
LPG	97,380	95,700	▲ 1,680
基準平均原料価格(b)	57,250		
差額(a-b)	37,000	37,600	600

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

### 4. 単位料金調整額の算定方法

#### <原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

##### ■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} & \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} && \boxed{94,610} \times 0.9479 \\ & + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} && \boxed{95,700} \times 0.0546 \end{aligned}$$

**94,906.03**

↓(100円未満四捨五入)

**94,910** 円/t

##### ■ 原料価格変動額の算定

$$\boxed{94,910} \text{ 円/t} - \boxed{57,250} \text{ 円/t} = \boxed{37,660} \text{ 円/t}$$

↓(100円未満切捨て)

**37,600** 円/t

##### ■ 単位料金調整額(m<sup>3</sup>あたり調整額)の算定 (補助金適用前)

$$\text{単位料金調整額} = \boxed{37,600} \text{ 円} / 100 \text{ 円} \times 0.0891^{*4}$$

(補助金適用前)

$$= \boxed{33.50} \text{ 円}^{*5}$$

\*4 変動額100円につき単位料金を0.0891(0.081×1.1)円調整します。

\*5 調整額がプラスの時は小数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は小数点第3位以下を切り上げます。

##### ■ 単位料金調整額(m<sup>3</sup>あたり調整額)の算定 (補助金適用後)

$$\text{単位料金調整額} = \boxed{33.50} \text{ 円} - 10 \text{ 円} = \boxed{23.50} \text{ 円}$$

(補助金適用後)

### 5. 標準家庭料金の算定方法

東京地区等

$$\begin{aligned} \text{本体料金(税込)} &= \text{基本料金(1,056.00円)} \\ &+ \text{調整単位料金(130.46円)} + \boxed{23.50} \text{ 円} \times 30\text{m}^3 \\ &\quad \text{基準単位料金(税込)↑} \quad \text{↑単位料金調整額(税込)} \\ &= \boxed{5,674} \text{ 円} \end{aligned}$$

・ 本体料金は小数点以下切捨て

#### [参考]

##### 原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m<sup>3</sup>あたりの単価を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（57,250円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m<sup>3</sup>あたり0.0891円（0.081円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が156,200円（調整上限）を超えた場合には、「平均原料価格」は156,200円としてガス料金の調整を行います。